

The First All Japan Adaptive Stand-up Tennis Tournament 第1回全日本障がい者立位テニス選手権大会

報告書 Report



Photo by Hitoshi Izumi



General Incorporated Foundation
JAPAN ADAPTIVE STAND-UP TENNIS ASSOCIATION

一般社団法人 日本障がい者立位テニス協会

2019.05.31

第1回全日本障がい者立位テニス選手権大会 実施概要

- **日 時** 2019年5月19日(日)
受付開始9:30～、開会式10:00～10:30、試合開始11:00～
- **場 所** 千葉市蘇我スポーツ公園庭球場(フクダ電子ヒルスコート)
No1~10 コート(オムニコート) 千葉県千葉市中央区川崎町 2-18
- **主 催** 一般社団法人 日本障がい者立位テニス協会(JASTA) 
- **後 援** 千葉県・千葉市・千葉市教育委員会
- **特別協賛** 石川医院・みやのぎデイサービス・一般社団法人日本かしこめし協会
株式会社光設備工業
- **協 賛** タムラクリエイト株式会社・ブリヂストンスポーツ株式会社
ヨネックス株式会社・BNPパリバ・グループ・日本工学院八王子専門学校
オットーボック・ジャパン株式会社・東洋アルミニウム株式会社
ウィンザー商事株式会社・テニスサポートセンター
- **協 力** 日本女子テニス連盟

- **参加資格** 身体障害者手帳を保有し、肢体に障がいがある方
(四肢のいずれかの切断、欠損、片麻痺、四肢麻痺、先天性の奇形)
- **カテゴリー** A1 ・ A ・ B1 ・ B
- **出場者数** A1 = 15名 ・ A = 10名 ・ B1 = 2名 ・ B = 2名
- **参加費** 3,000円
- **競技種目** シングルス
- **競技方法** カテゴリーA1・A = 各トーナメント方式(コンソレーションマッチ有り)
JTA テニスルール・ノーアドバンテージ6ゲーム先取
本戦決勝戦のみ8プロセットマッチ

カテゴリーB1・B = 各トーナメント方式
TAP 規定のコートサイズ、オレンジボール
ノーアドバンテージ4ゲーム先取(1ゲーム7ポイント、7ポイント先取)
- **使用球** カテゴリーA1・A = ブリヂストン XT-8
カテゴリーB1・B = ブリヂストン BBPPS8(オレンジボール)
- **関係者数** 54名(出場選手を除く大会スタッフ総数)
- **来場者数** 150名

開催へのご支援お礼

日本で（おそらくアジアオセアニア地域でも）初めての障がい者立位テニス競技の本格的な大会となりました。北は北海道、南は奈良県から 30 名がエントリー、直前の怪我で出場出来なくなった 1 名を除いた 29 名が障がい別の 4 つの 카테고リーに分かれて戦いました。

大会会場のある千葉市は、障がい者スポーツへの理解が大変深く、大会へご後援頂いただけでなく、公共性の高い催しとして、会場利用料を全額免除して頂きました。千葉県でも、ご後援を決めて下さいました。このような立派な会場で沢山の来場者の方に立位テニスをご覧頂く機会に恵まれ、心より感謝申し上げます。

初めての主催大会という事で、過去実績を問われ、開催資金を得るには大きな資金調達が厳しい状況でした。そこでクラウドファンディング「Ready for」にプロジェクトを掲載し、支援募集期間 2019 年 4 月 5 日～5 月 7 日の間に 133 名の方にご支援を頂き総額 1,216,000 円の資金を得る事ができました。また、企業・団体 13 社にはパンフレットへの広告協賛、物品協賛を頂き、合わせて 1,733,000 円の開催資金を得て、思い描いていた内容全てを盛り込んだ大会を開催する事ができました。

今大会で目指したのは大きく 2 つ。

1. 出場・関係者だけでなく、外の人にも応援してもらえる大会にすること。

内輪だけで盛り上がりながらも、この競技の発展には繋がらない。知らなかった人に知ってもらい応援される競技に育てない限り、発展はないと考えているからです。もちろん全国的な競技者の発掘も狙いです。

無料で誰でも参加できるイベントを用意し、観るだけでなく、体験して障がい理解に繋がったり競技や選手に興味を持って頂く事を狙いました。一番重要としたのは、「ここでしか出来ない体験」。そのメインは「いろんな『手』と握手会」「義足体験」「選手とラリー」です。また、選手の傷病発生に対しても、医師、理学療法士の駐在ブース、緊急搬送時の受け入れ先病院への協力依頼も行いました。千葉県、千葉市よりご後援頂いた事を示すため、千葉県から「チーバくん」千葉市から「かそりーぬ」という 2 体のマスコットキャラクターを借り受け、大会を盛り上げました。

2. 実力ある選手がさらに研鑽を積む機会の手助けとなり、夢のある競技だと伝えること。

大会で優秀な成績を残した選手こそ、海外大会にも挑戦してほしい。そのために法人化した協会が応援できなければダメだ。できる限り内製して外に出て行く経費を抑え、副賞を出そうと決めていました。選手が遠征する場合、経費は全額自己負担なので、少しでもその軽減に繋げるためです。今大会の各カテゴリー優勝者が 1 年以内に海外大会にエントリーしたら、航空券代として一人 10 万円を出すことを副賞としました。もし、自己都合で行かなければ権利は準優勝者に移ります。準優勝者も行かなければ、10 万円は協会の強化費用に算入します。海外大会に当該カテゴリーが開催されなくてエントリー出来なかった場合は、来年 5 月に成田で開催する TAP JAPAN OPEN 2020 にエントリーすれば、宿泊費として一人 5 万円を出します。（差額の 5 万円は協会の強化費用に参入）

今大会のコンセプトに賛同して、運営に関わって下さったスタッフの総数は、54 名。テニス関係者も学生も全て、交通費補助お一人 1,000 円とお弁当支給という足代にも足りない条件で、ボランティアとしてご協力下さいました。

試合進行には日本女子テニス連盟の、とりわけ千葉県支部の方にご協力頂き、ソロチェアアンパイアから、選手呼び出しや記録といった大会本部機能までお引き受け願えたお陰でしっかりした進行が実現致しました。

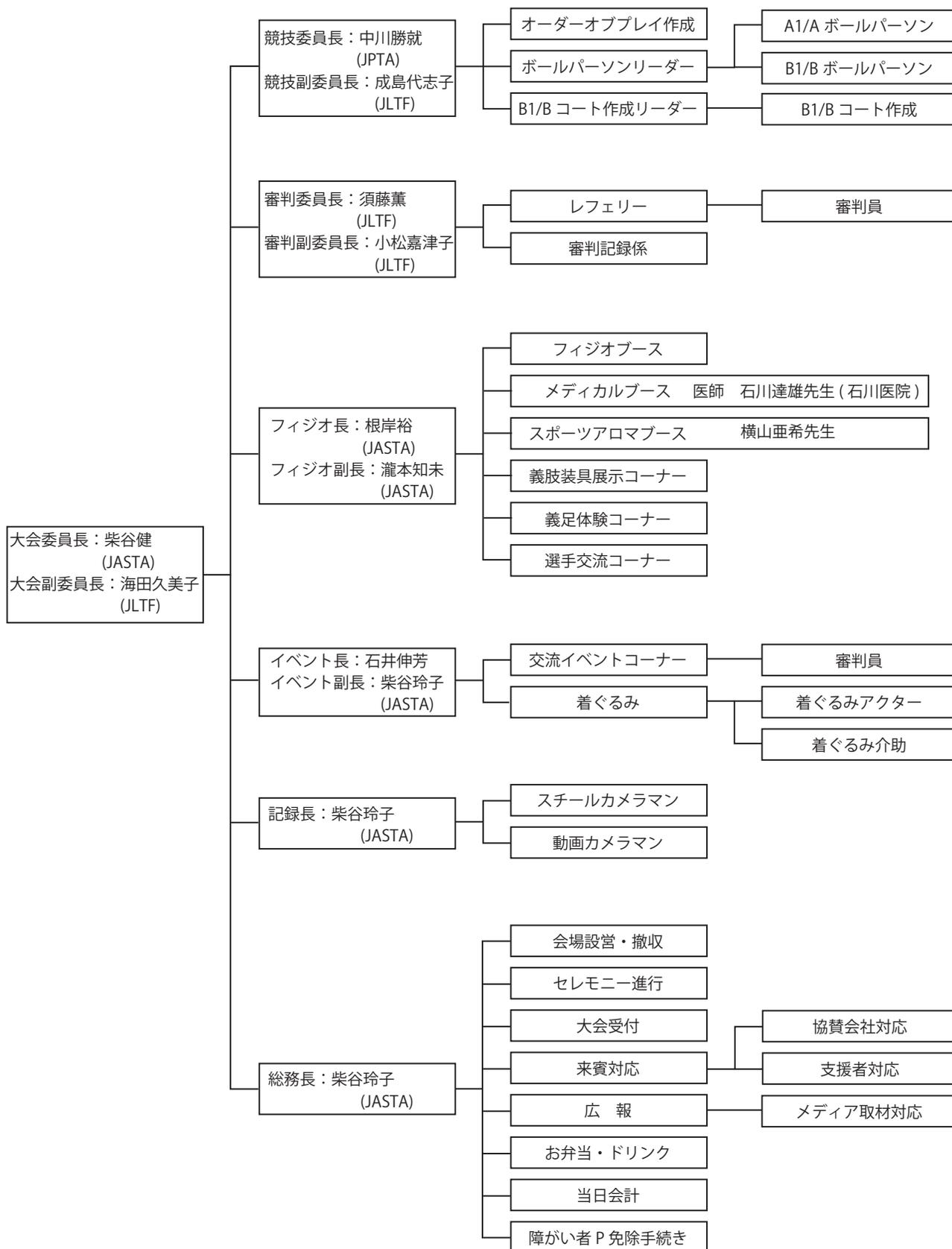
今大会の実現に向けてご協力頂いた全ての方に心より感謝申し上げます。

JASTA は次に、2020 年 5 月に成田市でこの競技の世界大会、TAP JAPAN OPEN 2020 を主催いたします。これからの JASTA にどうぞご期待下さい。

スケジュール



組織図



- 大会当日の傷病発生時の受け入れ依頼先
千葉メディカルセンター（院長 影山雄介先生に書面にて依頼）

キービジュアル・印刷物

<キービジュアルデザイン>

初めての日本一を決める全日本大会である事から、背景のモチーフは日本一の山「富士山」と、この競技の今後の発展を祈って黎明の象徴「昇る朝日」。

何の競技かを一目で理解してもらう為、JASTAのロゴマークの色「赤」「白」「黒」のウェアに身を包んだ、異なる障がいの3選手に登場頂いた。赤いウェアは先天性の左手先欠損の高野健一選手、白のウェアは、先天性脳性麻痺で左手足に麻痺がある村山巧弥選手、黒のウェアは、事故による膝上切断、義足の岸俊介選手。



- ポスター（フルカラー）
A2 タテ 200 枚
- チラシ
（表フルカラー・裏モノクロ）
A4 タテ 20,000 枚

ご後援頂いた千葉県、千葉市のほか、全国の障害者スポーツ協会、テニス関係企業等に配布して大会告知



- 大会パンフレット（フルカラー）
A4 タテ 28 ページ
300 部

広告協賛 8 社

全国から集まる選手同士の交流に役立ててもらうため、選手の顔写真とプロフィールを掲載

大会当日に選手とスタッフ、協賛各社、メディアにも配布
（ドロー表は当日別途配布）

ドロー・結果 Category A1

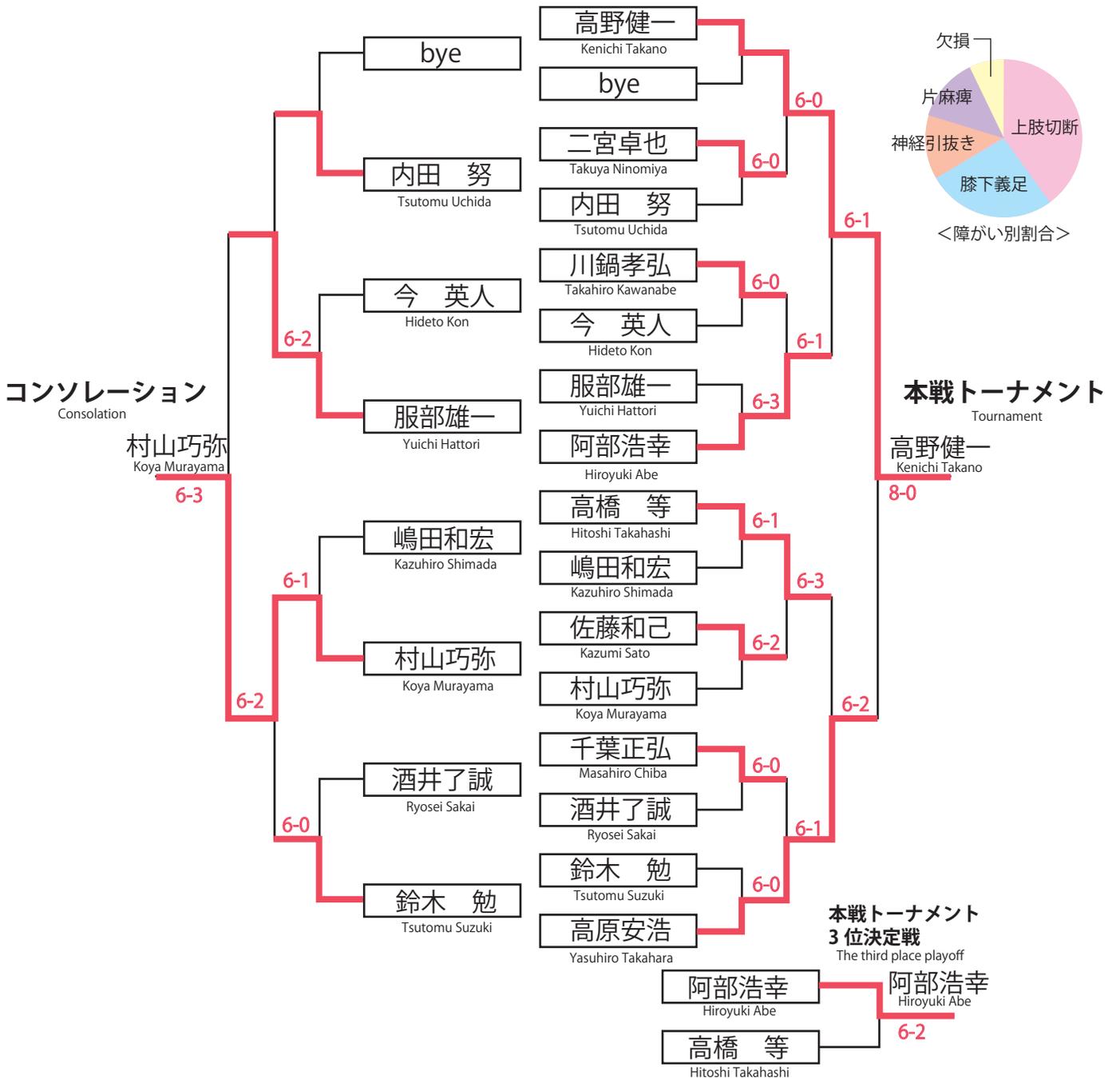
優勝プレゼンター：タムラクリエイト株式会社 代表取締役 田村賢司様 (JASTA 特別顧問)
 準優勝プレゼンター：株式会社 tennis-peak 代表取締役 林 紘太郎様 (クラウドファウンダー)



優勝 高野健一選手 (千葉県)



準優勝 高原安浩選手 (東京都)



ドロー・結果 Category A

優勝プレゼンター：タムラクリエイト株式会社 代表取締役 田村賢司様 (JASTA 特別顧問)

準優勝プレゼンター：柴谷玲子 (JASTA)

Photo by Hitoshi Izumi

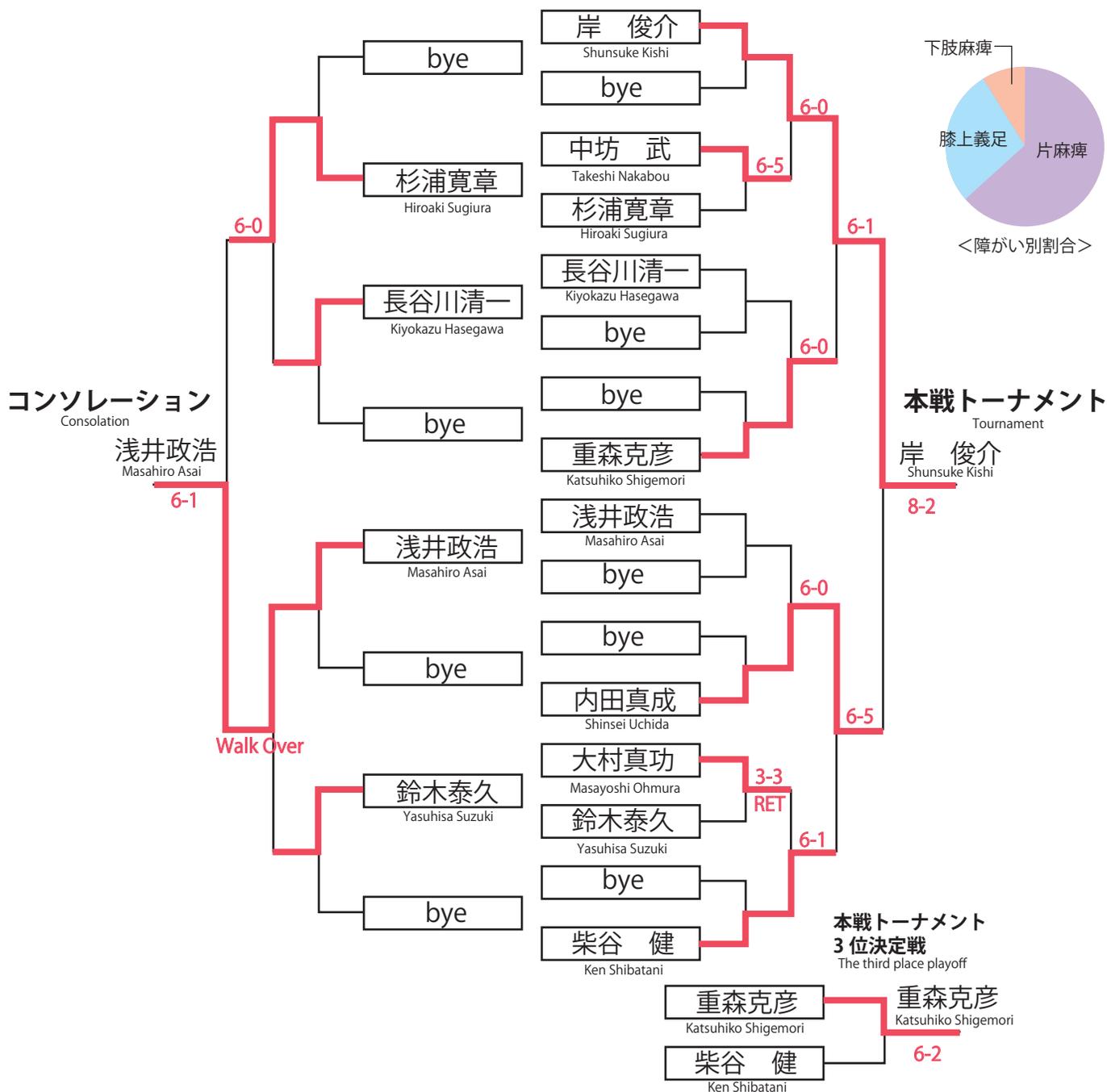


優勝 岸俊介選手 (神奈川県)

Photo by JASTA



準優勝 内田真成選手 (北海道)



ドロー・結果 Category B1

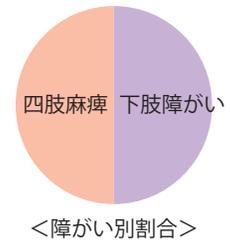
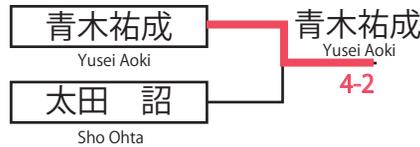
優勝プレゼンター：タムラクリエイト株式会社 代表取締役 田村賢司様（JASTA 特別顧問）
 準優勝プレゼンター：株式会社 tennis-peak 代表取締役 林 紘太郎様（クラウドファウンダー）



優勝 青木祐成選手（東京都）



準優勝 太田 詔選手（千葉県）



ドロー・結果 Category B

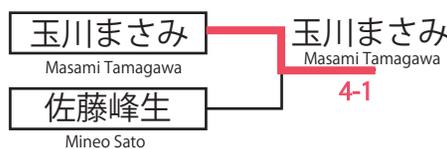
優勝プレゼンター：タムラクリエイト株式会社 代表取締役 田村賢司様（JASTA 特別顧問）
 準優勝プレゼンター：株式会社 tennis-peak 代表取締役 林 紘太郎様（クラウドファウンダー）



優勝 玉川まさみ選手（東京都）



準優勝 佐藤峰生選手（東京都）



開会式

来賓ご挨拶



Photo by Takayuki N-ikko

千葉市総合政策局
オリンピック・パラリンピック推進部
オリンピック・パラリンピック調整課
課長補佐 鈴木 啓之 さま



BNP パリバ・グループ
広報部 マネージャー
大熊 韻 さま

競技説明



Photo by Takayuki N-ikko

＜大会競技委員長＞
日本プロテニス協会
中川 勝就 さま



選手宣誓
Category A1 出場
村山巧弥選手



世界ランカー紹介
この競技で世界大会に出場経験
がある JASTA 所属の 7 選手の紹介

Photo by Takayuki N-ikko

閉会式



Photo by Hitoshi Izumi

＜大会副委員長＞
日本女子テニス連盟
大会協力委員長
海田久美子さま

初代チャンピオン達



Photo by Takayuki N-ikko

同時開催無料交流イベント

障がい理解の為に、誰でも参加可能な交流イベントを午後に開催しました Photo by Hitoshi Izumi

健常者の義足体験



JASTA トレーナー（理学療法士）が体験介助

いろんな「手」と握手会



一般来場者とも、選手同士でも。写真は切断の選手（左）と欠損の選手（右）の握手。



義肢装具展示説明

選手が持ち寄りました

ジュニアテニス体験



車いすテニスの選手（手前）がイベントに参加してくださいました

立位選手とラリー体験



的当てゲーム



着ぐるみと撮影会



メディカル・フィジオブースの設置

Photo by Hitoshi Izumi & Takayuki N-ikko

今大会では、万一の傷病発生に備え、医師駐在のメディカルブースと理学療法士駐在のフィジオブースを設置。大会の趣旨にご賛同頂き、ボランティアスタッフとしてご参加頂きました。幸い大きな傷病は発生せず、無事に大会を終える事ができました。



大会ドクター

医師 石川達雄先生（石川医院 院長）

傷病発生時の受け入れ先として、千葉メディカルセンターへ対応を依頼

大会をご覧になり、「これは最高のリハビリだ。室内での単調なリハビリを辛く感じている患者も多いと聞か、ここでは誰もが笑顔でボールを追っている。各選手が自分の回復の経緯を公表すれば、たくさんの患者を勇気づけられるのではないか。」とコメント。

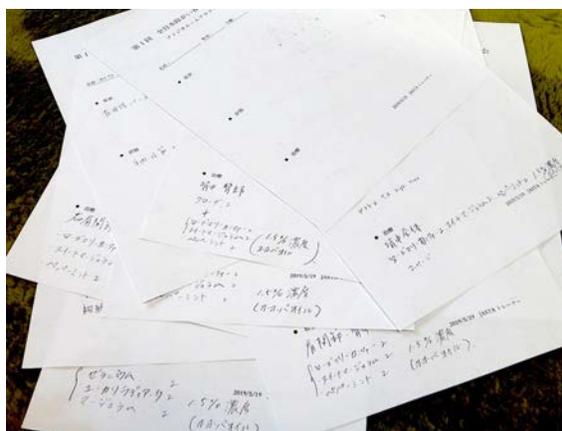
大会フィジオ

左から

横山亜希先生（スポーツアロマ）

根岸 裕先生（理学療法士・JASTA トレーナー）

瀧本知未先生（理学療法士/JASTA トレーナー）



アセスメントシートを用いて記録を残しました。選手 29 名のうち、11 名がフィジオブースを利用。

<スポーツアロマ>

アロマにより交感神経と副交感神経をコントロールし、試合に集中させたり、アロマを調合してオイルマッサージに用い、筋肉疲労などに対処する。リオオリンピックの水泳代表に帯同経験を持つ横山先生が担当



ストレッチなど、問診の結果に合わせた施術



スポーツアロマを使った施術

各選手のコンディションに合わせた調合のアロマオイルを用いた

収支報告

収入の部

| 項目 | 金額(円) | 内容 |
|-------------|-----------|------------------|
| 参加費 | 87,000 | 3,000円／1人、29名参加 |
| 特別協賛金 | 140,000 | 4社・団体様より |
| 広告協賛金 | 130,000 | 5社・団体様より |
| 寄附 | 160,000 | 日本女子テニス連盟様よりラブ基金 |
| クラウドファンディング | 1,216,000 | Readyfor 支援金 |
| 収入合計 | 1,733,000 | |

支出の部

| 項目 | 金額(円) | 内容 |
|-----------------------------|-----------|--------------------------------------|
| 会場使用料 | 0 | 千葉市による100%免除により |
| 印刷費 | 86,489 | A4チラシ20,000枚、A2ポスター200枚、A4パンフレット300部 |
| デザイン版下作成費 | 150,000 | R-WORKS |
| 会場装飾費 | 107,351 | 大会バナー・バックボード作成 |
| サインボード制作費 | 20,000 | コーナーサイン |
| 会場装飾備品費 | 21,071 | ブルーシート、ロープ、イベント用資材 |
| Bコート作成備品費 | 18,224 | 50mm巾マスキングテープ、ラインマーカー、エッグパウダー |
| Bコート事前練習会費 | 5,200 | 2面2時間コート使用料(舎人公園) |
| レンタル用品費 | 185,760 | パラソル付テーブル12台、椅子60脚、ラック4台 |
| 事務用品費 | 22,020 | コピー紙、プリンタインク、筆記具 |
| 表彰用品費 | 26,838 | 優勝トロフィー4点、準優勝盾4点 |
| イベント企画、資料作成費 | 150,000 | space design studio arc |
| 会議費 | 18,243 | 会議室利用料、喫茶代 |
| 送料・通信費 | 11,907 | チラシ、ポスター、資料の発送費 |
| 旅費交通費 | 14,810 | 高速料金 |
| 選手・スタッフ昼食費 | 42,793 | お弁当+お茶+水 |
| スタッフ交通費補助費 | 54,000 | 1,000円／一人、54名 |
| イベント保険費 | 4,600 | 200名(選手、スタッフ、来場者)想定 |
| 雑費 | 256,575 | クラウドファンディング手数料・振込手数料 |
| 条件付き副賞費(※1) | 400,000 | 優勝者100,000円×4名 |
| TAP JAPAN OPEN 2020 告知費(※2) | 137,119 | 2019.5.30 現在未精算の大会経費を含む |
| 支出合計 | 1,733,000 | 2019年5月30日作成 |

収入合計 1,733,000円 - 支出合計 1,733,000円 = 0円

※1 各カテゴリーの優勝者が1年以内に海外大会にエントリーした場合、航空券補助として一人10万円支給。

優勝者自己都合でエントリーしない場合は、権利は準優勝者に移る。当該カテゴリーが開催されずにエントリー出来なかった場合は、TAP JAPAN OPEN 2020 にエントリーしたら、宿泊費補助として一人5万円支給。余剰分が出た場合は、JASTAの強化資金に算入します。

※2 クラウドファンドの支援者の皆様とのお約束で、繰り越し金は来年5月のTAP JAPAN OPEN 2020の告知費用に充てます。

Photo Gallery

Photo by Hitoshi Izumi



観客席が無い会場なので、テーブル椅子をレンタル



フィジオ・メディカル・交流ブースの設営



昼過ぎには観客席は埋まってしまいました



着ぐるみスタンバイ（国際医療福祉大学の学生がスタッフとして参加）



着ぐるみの移動には介助者が必要



来場者だけでなく選手たちも着ぐるみの登場を楽しんだ



パラスポーツ応援プロジェクト（聖学院高校の卒業生と在校生）もボールパーソンとして参加



オーダーオブレイによる試合進行

Photo Gallery

Photo by Hitoshi Izumi & Takayuki N-ikko



日本女子テニス連盟千葉県支部による大会運営協力



B1・B コートの設営も競技委員長とともに選手が担当



義足や装具を身につけた下肢障がい選手たち



役割ごとのスタッフミーティング



ボランティアスタッフと選手の受付



国際医療福祉大学テニス部の学生もスタッフとして参加



日本女子テニス連盟による
ソロチェアアンパイア



ドローを確認する選手たち

Photo Gallery

Photo by Hitoshi Izumi & Takayuki N-ikko



選手同士も「いろんな『手』と握手」



日本女子テニス連盟副会長小泉弘子様（右）もご観戦



試合が終れば必ず握手



カテゴリー B の選手へはボールは手渡しで



これも「いろんな『手』と握手」



清々しい笑顔



クラウドファンディングの支援者様へのリターンでパンフレットにサイン



チーバくんもラケットを持って応援、すっかり仲良し

Photo Gallery

Photo by Hitoshi Izumi & Takayuki N-ikko



JCOM様が取材して下さいました



たくさんの取材カメラに囲まれています



「選手とラリー体験」で新しい選手を獲得しました



「選手とラリー体験」に参加して下さいました左足が義足の方



Photo by Sports Press JP

左手欠損の高野選手



Photo by Sports Press JP

左腕切断の高橋選手



右腕神経引き抜きの佐藤選手(左)と阿部選手(右)



左腕切断の鈴木選手



右腕切断の川鍋選手



脳性左片麻痺の村山選手



右手が筋電義手の酒井選手

The First Champions & Runners 初代チャンピオンと準優勝者

Photo by Hitoshi Izumi & Takayuki N-ikko



カテゴリー A1 優勝 高野健一選手



カテゴリー A1 準優勝 高原安浩選手



カテゴリー A 優勝 岸 俊介選手



カテゴリー A 準優勝 内田真成選手



カテゴリー B1 優勝 青木祐成選手



カテゴリー B1 準優勝 太田 詔選手



カテゴリー B 優勝 玉川まさみ選手



カテゴリー B 準優勝 佐藤峰生選手